

川西町の土地利用とまちづくり

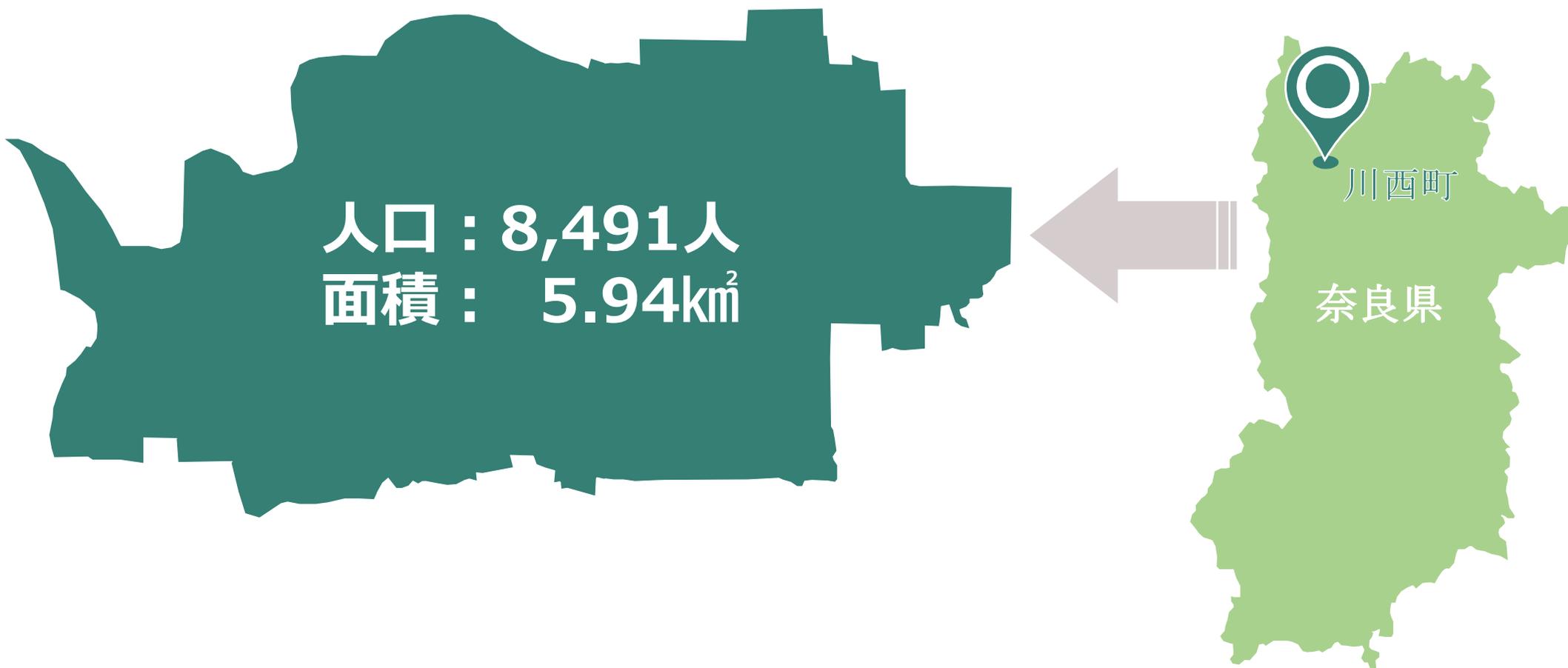


令和2年10月11日
川西町長 竹村匡正

1

川西町の実態

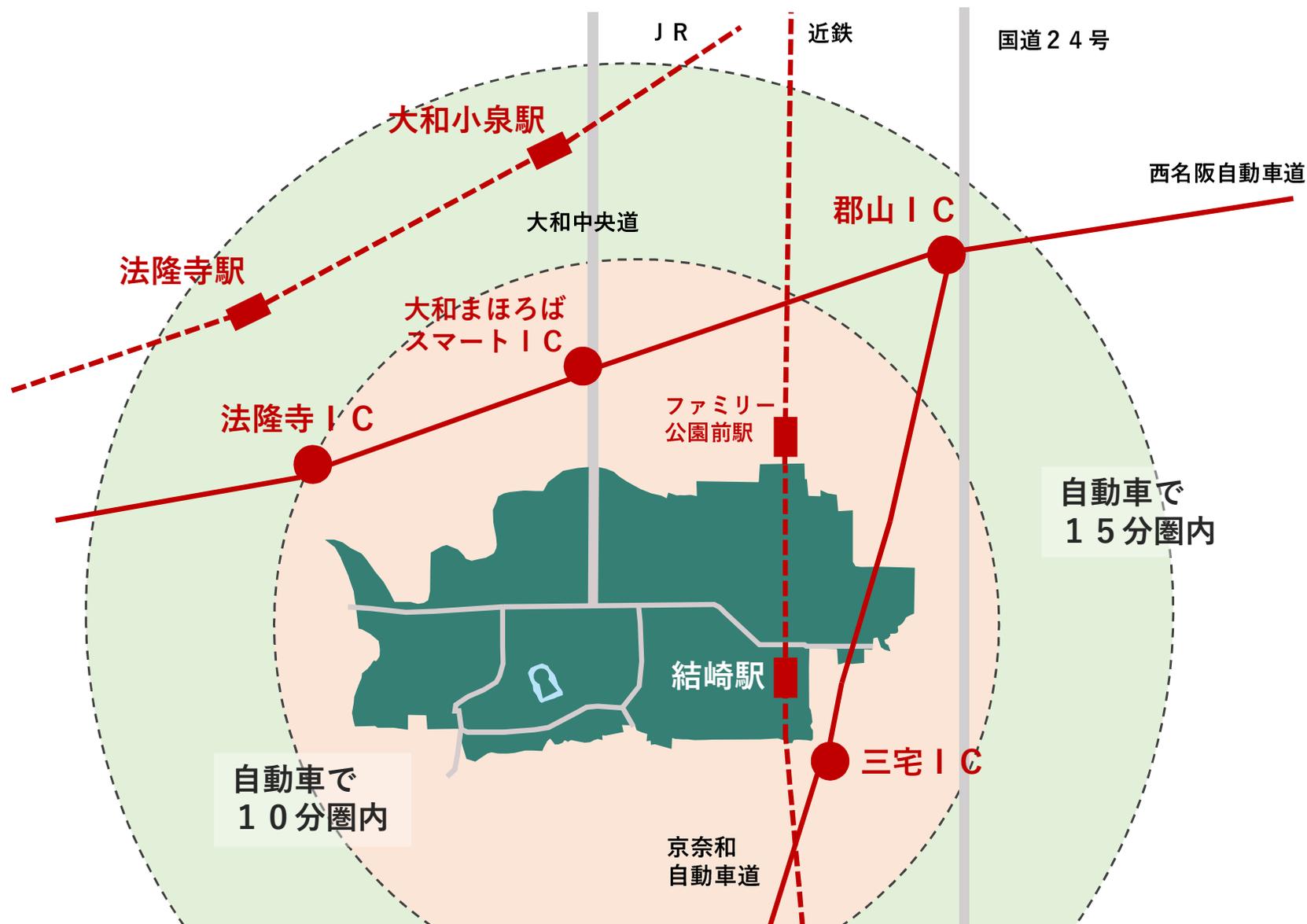
奈良盆地の中央に位置するコンパクトな町です。



2

交通アクセス

奈良盆地の中央に位置し、県内外からのアクセス良好



3

土地利用

コンパクトな町域で町を持続させる方法は？

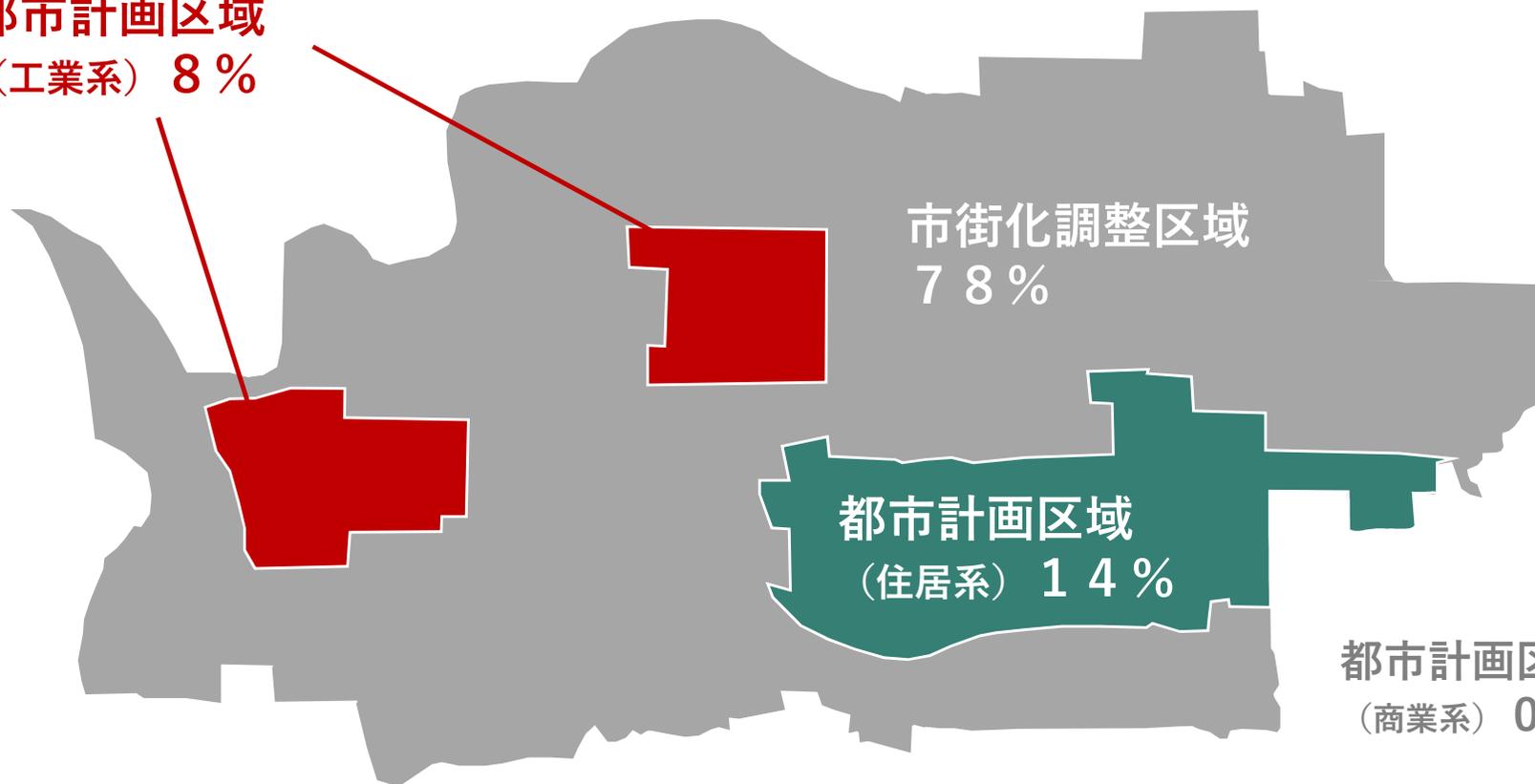
工業系
に特化

都市計画区域
(工業系) 8%

市街化調整区域
78%

都市計画区域
(住居系) 14%

都市計画区域
(商業系) 0%



4

製造業が集約する町

工業系に特化しやすい理由：通勤しやすく、物流にも便利

製造品出荷額：2018年工業統計調査



- ・ 県内市町村からの就労者 約2,600人
- ・ 県外からの就労者 約440人

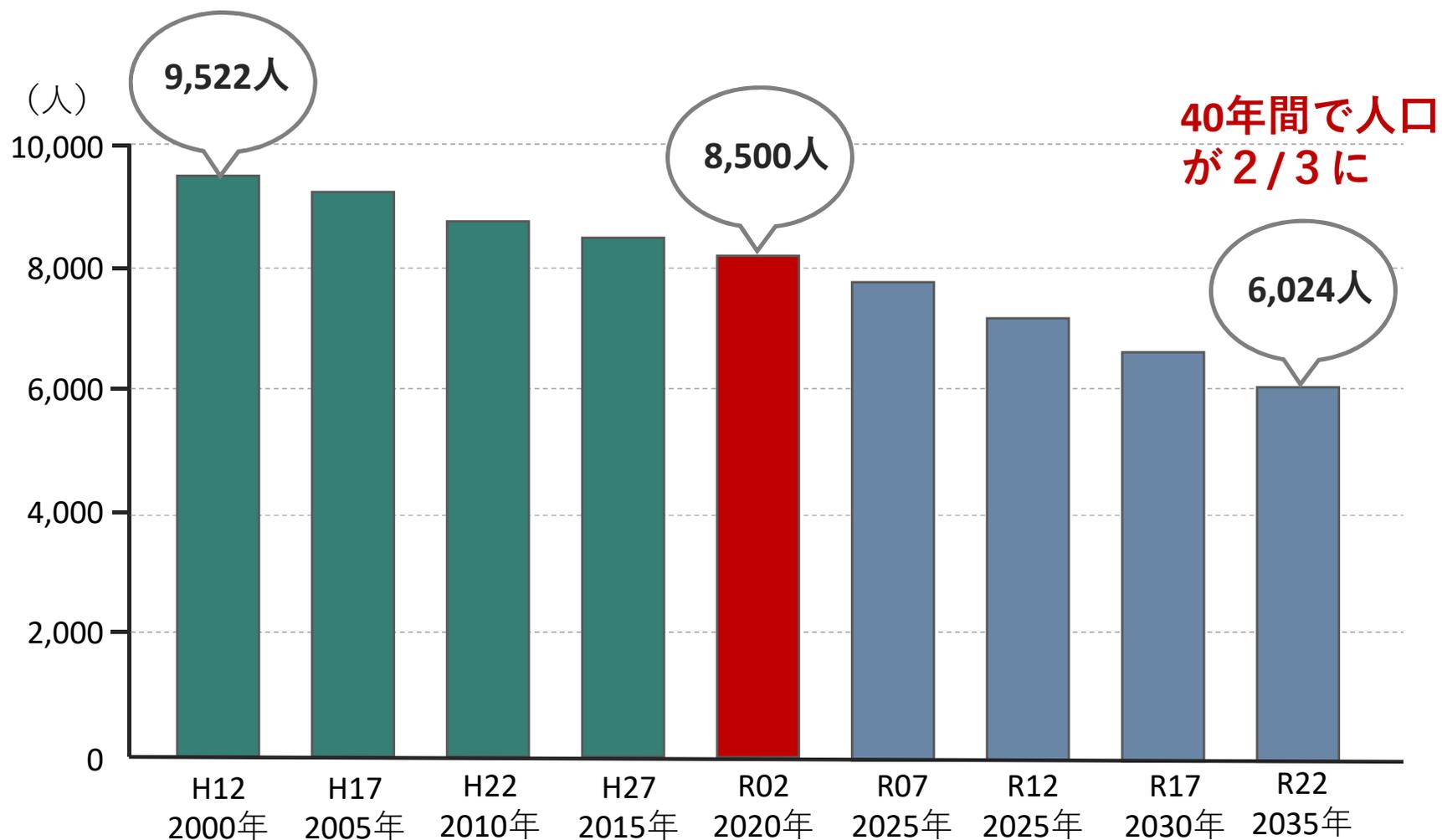
- ・ 昼間人口と夜間人口がほぼ同じ
- ・ 町内の事業所で就労する人 約4,000人
- ・ うち川西町民が約1,000人

- ・ 県内の町村では12年間連続で1位をキープ
- ・ 市町村面積あたりの製造品出荷額全国68位 (奈良県1位)

5

まちづくりの課題

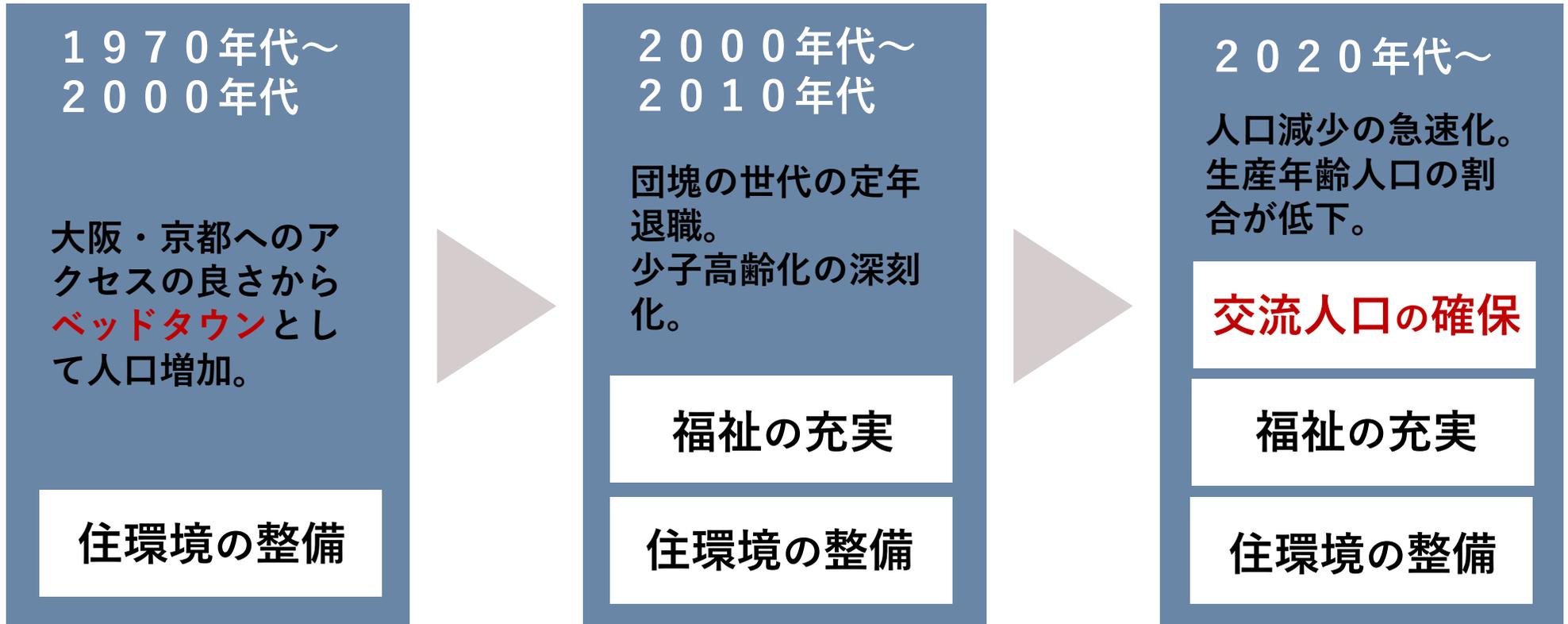
人口減少・少子高齢化で、都市機能を維持できない？



6

これからの土地利用とまちづくり①

ベッドタウンから「働きに来る場所」への転換



|| ベッドタウンのまちづくり
(暮らしやすさの追求)

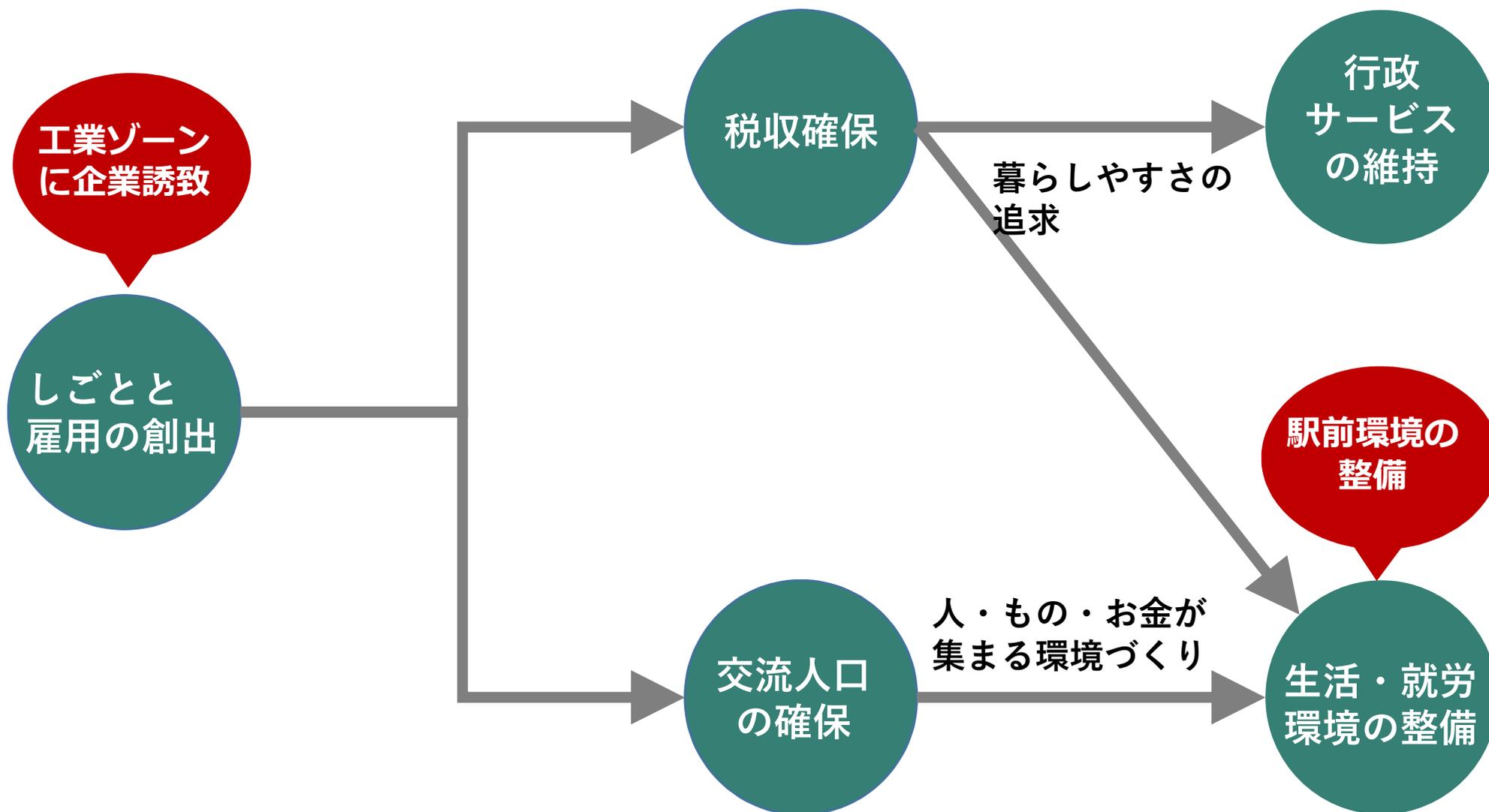
(暮らしやすさの追求)

|| しごとと雇用を生むまちづくり
(人・もの・お金が集まる環境づくり)

7

これからの土地利用とまちづくり②

ベッドタウンから「働きに来る場所」への転換



8 川西町の2大まちづくり事業①

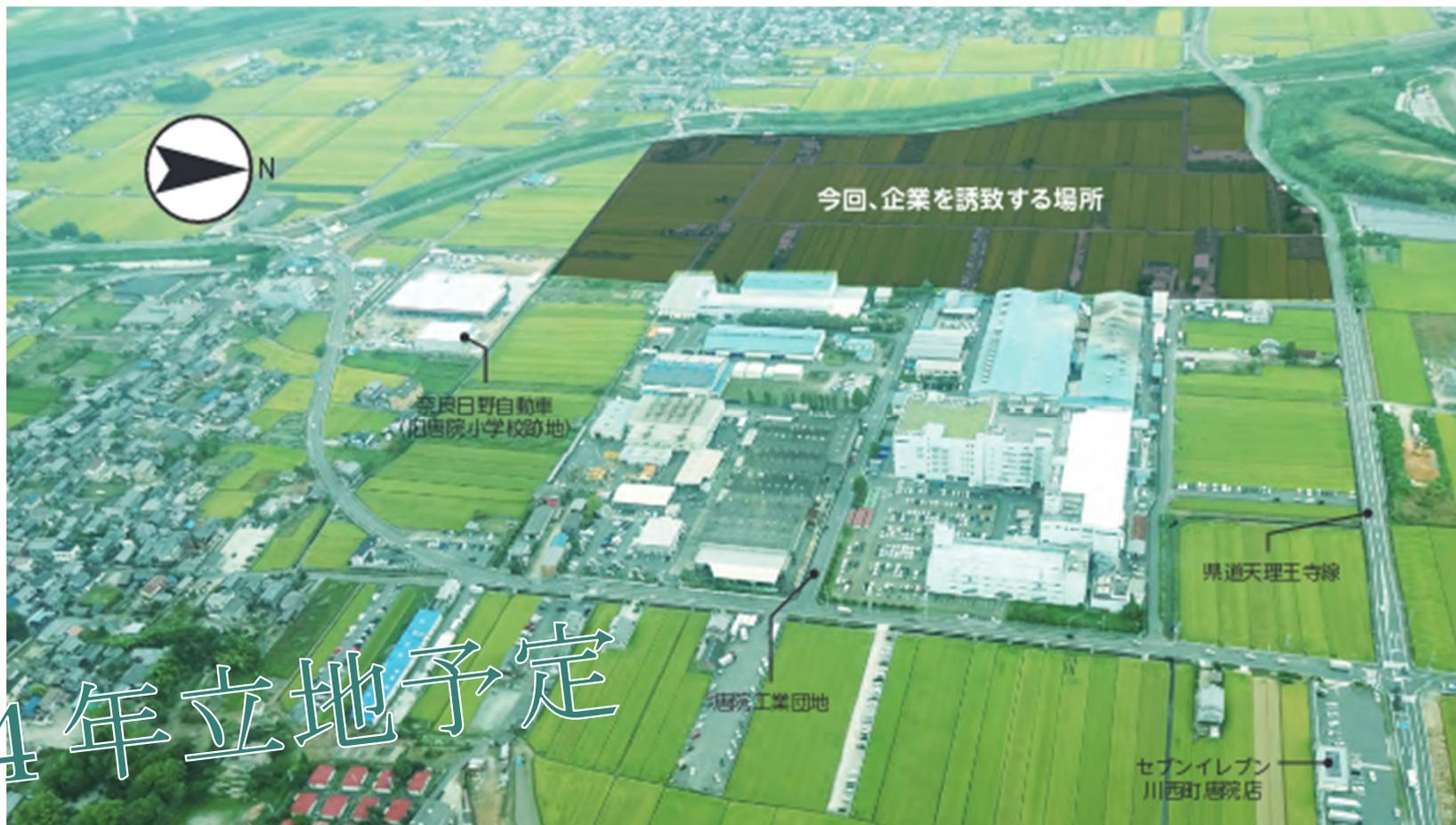
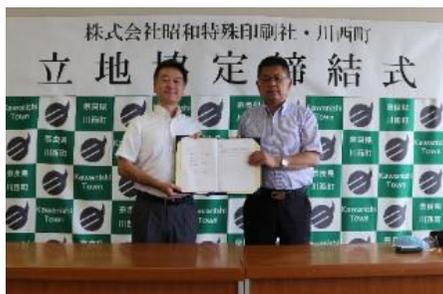
生まれ変わるまちの玄関：近鉄結崎駅周辺整備事業



住民の利便と安全の向上だけでなく、
企業にとっても、従業員の通勤が便利になります。

9 川西町の2大まちづくり事業②

新たな立地企業を誘致：唐院工業団地周辺整備事業



2024年立地予定

唐院工業団地周辺を「工業専用地域」に指定。
1.1haを新たに産業用地として開発・分譲。

10

これからの土地利用とまちづくり

町の特徴を活かした未来志向のまちづくり

町の特徴

町域の狭さ

「コンパクトなまちづくり」
で住みやすさに活かす。

何かに特化した土地利用。

町の特徴

交通アクセスの良さ

「町外に出ていきやすい」
だけでなく、
「町外から来てもらいやすい」
も活かしたまちづくり。

